



〔受賞したシャンパンクーラー〕



〔曲げわっぱを製作している柴田社長〕

シャンパンクーラーで全国最高賞

有限会社柴田慶信商店（大館曲げわっぱ協同組合）

企業紹介と事業の背景

有限会社柴田慶信商店（大館曲げわっぱ協同組合）は、昭和41（1966）年に個人商店として創業し、平成元（1989）年に有限会社となりました。

平成21（2009）年には、東京に進出し、日本橋三越本店に常設コーナーを設けた他、翌年には浅草店をオープンしました。

平成30（2018）年には、大館市御成町の商業施設わっぱビルディング内に柴田慶信商店わっぱビルディング店を構え、製品の販売と合わせて、日本各地、世界各国から収集した曲げ物の展示の他、曲げわっぱの製作体験スペースを設置しました。

これらの店舗の他、ウェブサイトでの販売も行っており、さらなる販路拡大を目指して、様々な商品を考案しています。

取組内容

そのような中、曲げわっぱ職人として伝統工芸士の資格を持つ同社の柴田昌正社長（大館曲げわっぱ協同組合理事長）が製作した天然秋田杉シャンパンクーラーが本年度の「第46回全国伝

統的工芸品公募展」で最高賞を受賞しました。

公募展には、全国から帯や茶器セットなどさまざまな作品計254点の応募があり、11月24日に行われた審査の結果、柴田社長が入賞15点の中から1点だけが選ばれる最高賞の内閣総理大臣賞を受賞しました。

このシャンパンクーラーは樹齢200年以上の天然秋田杉を使った作品で、直径30センチの大、24センチの中、18センチの小の3サイズがあり、高さはいずれも22センチとなっています。

この商品には、構想から製作、商品化に至るまで約1年半を費やしており、ワインクーラーではなく、あえてシャンパンクーラーとしたのは、ウェルカムドリンクとしてシャンパンを冷やすことを想定して製作したことが理由です。

もちろん、シャンパンやワインを冷やす用途だけでなく、野菜や果物を冷やすことにも使うことができ、主に少人数のパーティーを想定しています。

期待される効果と今後の事業展開

柴田社長は「この受賞をきっかけに若い人に曲げわっぱ作りに興味を持ってもらい、若い従事者をもっと増やし

ていきたい。そのためにも使い手と作り手をつなぐ取り組みをしていきたい。」と述べています。

当社の他、大館曲げわっぱ協同組合に加入している組合員企業とともに、ホームページを一新しており、文章の英語訳を掲載したほか、商品の活用方法をブログで提案しています。

今後、当社では、コロナ禍で売上が落ち込んだ経験を活かし、今までの販売方法に限らず、インターネットでの通信販売にも力を入れていくこととしています。



【有限会社柴田慶信商店】

- ▶所在地／大館市御成町二丁目15番28号
- ▶代表者／柴田 昌正（伝統工芸士）
- ▶業種／木製品製造業
- ▶従業員数／22名
- ▶所属組合／大館曲げわっぱ協同組合